



ラスロンG  
バッテリー寿命を延ばす  
北海道リユースが販売

〔札幌〕北海道リユース(本社〓札幌市厚別区、軽部和浩社長)は車に使用される鉛バッテリーの寿命を延ばすという再生剤「ラスロンG」の販売を開始している。寿命と判断されたバッテリーでもラスロンGを入れることでバッテリー性能を回復させ、再利用可能な状態に還元させるという。鉛バッテリーは、極板の鉛とバッテリー液(希硫酸)が反応、結合して電気を起こす。しかし、鉛と希硫酸が結合すると

白い結晶(サルフェーション)ができ、使用年数の経過とともにその結晶が極板を覆ってしまう。サルフェーションは電気を通さない性質があるため、これにより極板の有効面積が減少しバッテリー能力が低下する。再生剤のラスロンGはサルフェーションを元の希硫酸と鉛に還元する効力があるため、入れることでバッテリーを初期に近い状態に再生し、再び充電を可能とする。バッテリー容量よって変化



するが、例えば50Ahの容量であれば一つのセ

ルに4ccずつ再生剤を注入。後は通常通りバッテリーを使用すればその効果が出てくるという。乗用車やトラックは通常走行によって充電されるが、そのスピードが緩やかなため、顕著な回復には約一カ月程度かかるが、電動式のフォークリフトであれば日常的に使用すると比較的早くに(約二週間)効果が現れてくる。

同社によると、廃棄されていたバッテリーでも乗用車で三割、電動式フォークリフト用では九〇%以上回復することを確認したという。またコスト面でも「新品購入よりもかなり有利」(軽部社長)と強調する。再生はバッテリー容量によって異なるが、乗用であれば数百円、三千円弱、トラックでは六千円、一万円程度で済む。同社の軽部社長は「コスト削減の効果とともに、廃バッテリーの削減といった環境負荷の低減にもつながる」と運送事業者の導入や、整備工場にも新しいサイベス商品としての活用を呼びかけている。道内では大手食品業者のフォークリフトや農業用機械のバッテリー、札幌市内ホテルの非常用の大型バッテリーなどに導入されている。詳細については同社(011)801-5866まで。